



## 平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年12月14日

上場会社名 株式会社 山王 上場取引所 東  
 コード番号 3441 URL <http://www.sanno.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 啓治  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長兼経理部長 (氏名) 浜口 和雄 TEL 045-542-8241  
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績（平成28年8月1日～平成28年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	1,803	8.6	44	—	39	—	32	—
28年7月期第1四半期	1,661	△12.4	△192	—	△202	—	△209	—

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 △55百万円 (—%) 28年7月期第1四半期 △313百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	6.94	—
28年7月期第1四半期	△45.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年7月期第1四半期	8,431	4,782	56.7	1,036.10
28年7月期	8,519	4,837	56.8	1,048.09

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 4,782百万円 28年7月期 4,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年7月期の連結業績予想（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	1.9	40	—	20	—	5	—	1.08
通期	6,600	3.0	125	—	95	—	65	—	14.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年7月期1Q	5,000,000株	28年7月期	5,000,000株
② 期末自己株式数	29年7月期1Q	384,050株	28年7月期	384,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年7月期1Q	4,615,950株	28年7月期1Q	4,615,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済におきましては、米国経済は好調な雇用情勢を背景に景気回復基調が続いておりますが、米国次期政権の経済運営については不透明な部分が多く、今後経済環境が急変する懸念があります。また、欧州経済については、英国のEU離脱問題による混乱から落ち着きを取り戻し、緩やかながら回復基調が見られております。

一方で、新興国経済では成長鈍化や資源価格の低迷長期化による資源国経済の不調により、不透明感が強まっております。

わが国経済におきましては、雇用環境が堅調に推移したものの、個人消費・設備投資には依然として停滞感が見られており、厳しい状況が続いております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車市場は海外向けを中心に好調が続いている一方で、スマートフォンやタブレットPC等のIT機器市場は、前期に行われた生産調整の影響は緩和されたものの、市場の成熟化に伴い製品価格は下落傾向にあり、総じて厳しい事業環境にありました。

このような状況のもとで当社グループは、スマートフォン向け製品や車載向け製品等の主力製品を中心に積極的な受注活動を行い、前期から取り組んできた歩留り改善、生産性向上、経費削減等の収益改善施策を継続することで、連結営業利益を確保することが出来ました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,803百万円（前年同期比8.6%増）となりました。また、営業利益は44百万円（前年同期は営業損失192百万円）、経常利益は39百万円（前年同期は経常損失202百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失209百万円）となりました。

なお、セグメント毎の業績は次のとおりであります。

## ① 日本

当第1四半期連結累計期間は、スマートフォン向け製品や車載向け製品等の主力製品を中心に積極的な受注活動を行い、前期から取り組んできた生産性向上、経費削減等の収益改善施策を継続することで、前年同期に比べ収益性を大幅に改善させることが出来ましたが、当第1四半期連結累計期間での営業利益確保までには至りませんでした。

この結果、売上高は1,213百万円（前年同期比22.7%増）、営業損失は6百万円（前年同期は営業損失127百万円）となりました。

## ② 中国

当第1四半期連結累計期間は、プレス・めっき一貫加工による受注を中心に積極的な受注活動を行うとともに、歩留り改善、生産性向上、経費削減等の収益改善施策を継続することで、前年同期に比べ収益性を改善させることが出来ましたが、当第1四半期連結累計期間での営業利益確保までには至りませんでした。

この結果、売上高は302百万円（前年同期比5.2%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業損失66百万円）となりました。

## ③ フィリピン

当第1四半期連結累計期間は、前期において収益性悪化の主要因になっていためっき工程での歩留り管理を徹底するとともに、生産性向上によるコスト削減に努めることで、売上高は前年同期比減少しましたが、黒字転換を達成しました。

この結果、売上高は292百万円（前年同期比22.9%減）、営業利益は30百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金が減少したことなどから、前連結会計年度末と比べ88百万円減少し、8,431百万円となりました（前連結会計年度末は8,519百万円）。

負債は、その他流動負債が減少したことなどから、前連結会計年度末と比べ32百万円減少し、3,648百万円となりました（前連結会計年度末は3,681百万円）。

また、純資産は為替換算調整勘定が減少したことなどから、前連結会計年度末と比べ55百万円減少し、4,782百万円となりました。この結果、自己資本比率は56.7%となり、前連結会計年度末とおおむね同等となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年9月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,810,974	2,472,066
受取手形及び売掛金	1,911,568	2,078,112
製品	87,222	88,539
原材料及び貯蔵品	1,074,018	1,094,308
その他	125,205	111,806
貸倒引当金	△250	△250
流動資産合計	6,008,739	5,844,582
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	135,567	126,318
機械装置及び運搬具（純額）	65,138	65,561
土地	1,238,472	1,238,472
リース資産（純額）	132,325	118,382
建設仮勘定	172,143	225,265
その他（純額）	103,464	102,726
有形固定資産合計	1,847,112	1,876,726
無形固定資産	26,698	24,466
投資その他の資産		
投資有価証券	472,717	546,102
その他	167,723	143,064
貸倒引当金	△3,353	△3,353
投資その他の資産合計	637,088	685,813
固定資産合計	2,510,899	2,587,006
資産合計	8,519,638	8,431,589

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	240,681	236,791
短期借入金	1,477,400	1,475,900
1年内返済予定の長期借入金	461,799	493,740
リース債務	88,195	84,561
未払法人税等	14,231	13,264
繰延税金負債	7,551	6,020
その他	483,570	405,098
流動負債合計	2,773,430	2,715,378
固定負債		
長期借入金	406,089	445,508
リース債務	104,763	83,046
退職給付に係る負債	210,654	211,892
繰延税金負債	44,535	62,126
その他	142,219	131,031
固定負債合計	908,263	933,605
負債合計	3,681,693	3,648,983
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	2,466,561	2,498,600
自己株式	△125,103	△125,103
株主資本合計	4,174,278	4,206,316
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,998	183,610
為替換算調整勘定	527,435	390,542
退職給付に係る調整累計額	2,233	2,136
その他の包括利益累計額合計	663,667	576,289
純資産合計	4,837,945	4,782,605
負債純資産合計	8,519,638	8,431,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	1,661,222	1,803,619
売上原価	1,513,526	1,461,845
売上総利益	147,696	341,773
販売費及び一般管理費	340,512	297,646
営業利益又は営業損失(△)	△192,816	44,127
営業外収益		
受取利息	6,573	3,552
受取配当金	1,942	2,901
その他	7,723	4,989
営業外収益合計	16,240	11,444
営業外費用		
支払利息	11,432	8,995
為替差損	7,257	-
その他	6,734	6,885
営業外費用合計	25,424	15,880
経常利益又は経常損失(△)	△202,001	39,690
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△202,001	39,690
法人税、住民税及び事業税	7,238	8,648
法人税等調整額	14	△995
法人税等合計	7,253	7,652
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△209,254	32,038
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△209,254	32,038



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成27年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成28年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△209,254	32,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,993	49,612
為替換算調整勘定	△72,238	△136,892
退職給付に係る調整額	116	△97
その他の包括利益合計	△104,116	△87,377
四半期包括利益	△313,370	△55,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△313,370	△55,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。